

八戸市階上町田代小学校中学校組合立 田代小中学校
学校だより
 平成29年 2月 1日 No.9

有終の美を飾るために！～残り2ヶ月の過ごし方

校長 本間 孝浩

明けましておめでとうございます。年明けは穏やかな天候が続きましたが、3学期が始まったとたん、グラウンドは雪で覆われてしまいました。通学路も一時は雪で埋まってしまいましたが、地域の皆様に除雪していただいたおかげで、子どもたちの通学には支障もなく元気に学校生活を送っています。しかし月日が過ぎるのは本当に早いもので、閉校まで残すところ2ヶ月となってしまいました。残りの日々を今まで以上に大切にしていかななくてはと実感しております。

さて、今年度は4月からの島守小・島守中との統合を見据え、新しい環境・新しい仲間とも元気に学校生活を送ってほしい、しっかりと自分を表現してほしいという願いから、学校目標を、

『自分の考えを自信をもって表現できる児童生徒の育成』

～挨拶・返事・行動・感謝～

と設定して教育活動を進めてまいりました。毎日子どもたちに接しているとあまり感じないのですが、4月と比較すると、みんなたくましく、立派に成長しました。一人一人できることが増え頼もしく感じます。昨年末にご協力いただいた学校の取組に関する保護者対象のアンケートをみても、概ねしっかり取り組んでいるという評価を頂きましたが、同時にもう少し頑張ろうという課題も確認されました。主な成果と課題は以下のとおりです。

【成果】

- ・授業だけでなく、文化祭等の行事や集会においても、自信をもって自分の考えを表現できた。特に閉校式典においては、しっかりと感謝の気持ちを伝えることができた。
- ・小中併置校の利点を生かし、小中一緒に授業や、中学校教員の専門性を生かした出前授業等を実施し、学びの質を高めることができた。また諸行事において、小中とも最上級生はリーダーシップを発揮し、下級生は上級生の指示のもとで参加意欲や自分の役割を果たすという責任感を高めることができた。
- ・地域や関係事業所・団体の理解と協力により、充実した体験活動を実施できた。

【課題】

- ・時と場に応じた元気良い返事、さわやかな挨拶はこれからも継続して呼びかけていく必要がある。また、家庭学習の習慣化も含めて、家庭での過ごし方（時間の使い方）を工夫させたい。
- この成果と課題は、島守小・島守中への引き継ぎ事項として、統合先でも継続して指導していくことをお願いすることになりますが、ご家庭や地域でも子どもたちを励ましていただければと思います。残り少ない日々となりましたが、ご協力よろしくお願ひします。

**来年度に
向けて**

- 島守小中と交流** 冬休み中、島守中との交流会を行い、今後も次のように計画しています。
- 2/1 (水) ……新入・転入生説明会 (島守中、児童生徒・保護者)
 - 2/6 (月)・9 (木) ……スクールバスによる登校試行、交流会 (島守小・児童)
 - 2・16 (木) ……中学校交流学習
- 今後の田代小中学校** 12/13 (火) 閉校統合準備委員会総務会を開催し、話し合われた内容をもとに要望をまとめ、教育委員会にお伝えし検討していただいているところです。

おめでとう、沙結希さん!!

2017.1.24 掲載

『三年目の秋』

（朝日新聞掲載） デーリー東北

つたえる地域 つながる地域



「文集はちのへ」最高賞
 内城さん(中) 鳥海さん(旭ヶ丘) 三浦哲郎賞

三浦哲郎少年少女作品賞

同賞は創刊60周年を記念し、2013年度に創設。生母と触れ合う機会が少ないこと、活字を知らず、とらさず、とらさずを感じてきた学校から10編、中学校から鳥海さんが、交換日記を通じてつたえる地域の繋がりをあつめた。つたへの理念を深め、そのうち3編の応募があった。

三浦哲郎少年少女作品賞に選ばれた前例を自らが編み出した。内城沙結希さん

三浦哲郎少年少女作品賞に選ばれた前例を自らが編み出した。内城沙結希さん

経緯をつた。内城さんの作品は、祖父の死をきっかけに、少しずつ変わっていく環境で感じたこと、がテーマ。日頃の何げない生活から、祖父の目に対する愛情を確信するという体験記を書いた。

この日は、伊藤博章教育長が2人に表彰状を手渡した。講師では、小学校編の編集長を務めた養父三菜小校長が、鳥海さんについて「自分の心と向き合った体験がうまく表現できていた」と評価。中学校編の編集長田中昭子大副校長は内城さんについて「3年たったからこそ気づく祖父の愛情が、自分自身を見詰める成長につながっているのが読み取れる」とたたえた。

取材に対し、鳥海さんは「お母さんは、作文を読んで涙を流してくれた。愛を込めてきて本当にうれしい」と笑顔。内城さんは「自分の気持ちをちゃんと表現できるよ、に気が付いた。祖父も喜んでくれていたと思う」とうれしそうに話した。

三浦哲郎少年少女作品賞・・・八戸市出身の作家三浦哲郎の業績をたたえ、児童生徒の作文力向上のため2013年創刊60周年を記念して制定。

29日(日) 日曜参観日、親子交流会・研修会

最後の日曜参観日。保護者・地域学校連携協議会委員、総勢約30名が集まり、盛りだくさんの楽しい一日を過ごしました。家庭科(小学生)と美術(中学生)の授業参観の後は、2年ぶりのカレー作り親子交流会。我が子の手つきに成長を感じ、カレーの味も一段とアップしたのではないのでしょうか。

午後は、県ICT利活用推進事業で、タブレットを用いて写真を活用して思い出作品を制作しました。一人1台(当然保護者の方々も)で挑戦しました。児童生徒は、今年度それぞれが撮りためたたくさんの写真(約80枚から約500枚)の中からも、これはという物を選び制作しました。この様子は、県のホームページにも掲載されるということですが、完成した作品をまとめ、思い出DVD(児童生徒閉校品)として配布する予定です。ご協力ありがとうございました。



**2月の
主な予定**

- 1日(水) 小 学力検査
- 3日(金) 中3 5次考査
- 6日(月) 小 スケート
- 11日(土) 建国記念の日
- 14日(火) 私立高校入試
- 16日(木) 中 交流学習
- 17日(金) 一斉摺り
- 21日(火) 私立合格発表
- 23日(木) 小 参観日
- 24日(金) 集金日
- 27日(月) NHK取材